

稲荷鬼王神社 東京都新宿区歌舞伎町 2-17-5

御祭神は宇賀能御魂命・鬼王権現(月夜見命・大物主命(おおもののぬしのみこと)・天手力男命(あめのたぢからのみこと))で、大久保村の氏神であった稲荷神と、熊野から勧請されていた鬼王権現を合祀し稲荷鬼王神社となった。鬼は神であり力の象徴で、悪霊を祓う力があるとされ「福は内、鬼は内」と節分の時に唱える。この鬼王神社は一説に平将門の幼名鬼王丸に由来する説もあり、北斗七星の1つを構成する神社とも言われている。また、境内には鬼が水盤を担いだ手水舎も珍しい(同神社説明書)。



道路直ぐに社標



鬼が水盤を担ぐ手水舎



本殿



スフィンクスに似た狛犬



鳥居の上に恵比寿船



獅子に似ている狛犬が子供の獅子を抱えている

